

令和8年度 専門学校静岡工科自動車大学校 学校情報

1. 学校の概要、目標及び計画

(1) 学校の概要

- 1) 設置者 学校法人 静岡自動車学園 理事長 平井 一史
〒420-0822 静岡市葵区宮前町 71-1 TEL 054-262-7555
- 2) 学 校 専門学校静岡工科自動車大学校 校 長 古澤 浩一
〒420-8507 静岡市葵区宮前町 52-1 TEL 054-263-4666
- 3) 沿 革 ●令和8年度 学生便覧『沿革』参照

(2) 教育理念

社会のニーズにマッチした高いレベルの専門教育と人間性の育成

(3) 経営方針（専門学校事業の事業ビジョン）

- 1) 学生や父母等が「成長」を感じるとともに、「感動」を与え、すべての関係者（業界、企業、高校、地域）から喜ばれるような、質の高い教育サービスを提供する。
- 2) 様々な手法により学校教育活動及びその教育成果を地域社会へ周知し、学校の認知度を高めるとともに、安定した募集活動を展開する。
- 3) 経費、労務管理等においては、健全で効率的な学校経営を行う。
- 4) 将来の発展に向け、グローバルな視野と柔軟な発想により様々な可能性を模索し、時代の要請に合った新しい教育サービスを提供する。

(4) 専門学校事業目標

1) 教育の質の向上

- ・専門知識、技術及び社会人教育においては、「何を教えた」のではなく、「何ができる（わかる）ようになる」を実践し、創意工夫による質の高い教育を展開する。
- ・産学連携を推進し業界ニーズに合った教育環境（教育カリキュラム、教材、機器、施設設備）を構築する。
- ・研修及び授業研究などにより、教職員のスキル（知識、技術、指導力）向上に努める。
- ・資格取得率及び就職率の他、様々な教育活動において高い教育成果を達成する。

2) 戦略的な募集活動の推進

- ・PDCAのマネジメントサイクルにより常に募集活動を見直し、入学定員を確保する。
- ・新規市場を開拓し、新たな入学ルートを構築する
- ・企業奨学制度や高専一貫教育など、生徒や父母等、高校、企業が共に喜ぶ活動を推進し、安定した募集活動を展開する。

- ・学校教育活動を広く周知し認知度の向上を図るとともに、「選ばれる学校ブランド」を確立する。

3) 学校経営の健全化を推進

- ・PDC Aのマネジメントサイクルの確実な実行により「ムリ、ムラ、ムダ」を取り除いた効率的かつ生産的な学校経営を行う。
- ・人材育成（教員、幹部職員）を推進するとともに、優秀な人材を確保する。
- ・学校業務を体系的に整理し、システム化、マニュアル化を推進することにより、業務の効率化を図る。
- ・職場環境を点検、改善することで離職者を出さない学校にする。

4) 新しい教育サービスの企画・立案

- ・「いつでも」、「どこでも」、「誰にでも」 提供することができる新たな教育サービスの企画・開発を行う。
- ・生涯教育やリカレント教育など、現在の経営資源を活用した講座の開設について検討する。

数値目標：完成年度 在籍数 560名 （入学者数 180名）

特定資産繰入額 1億5000万円（3年）

基本金組入前当年度収支差額 1億円

（5）その他の諸活動に関する計画

- 令和8年度 学生便覧（令和8年度 年間行事予定…2-1）参照

2. 各学科（コース）等の教育

（1）入学者に関する受け入れ方針及び入学者数、収容定員、在学学生数

1) 入学者に関する受け入れ方針（アドミッションポリシー）

専門学校静岡工科自動車大学の建学理念である「技術者の育成をもって地域社会に貢献する」に基づき、「社会のニーズにマッチした高いレベルの専門教育と人間性の育成」の教育理念に共感し、明確な目的意識とともに、学びや成長への強い意欲に溢れ、また、専門教育を受けるに足る、十分な学力を有する多様な学生を受け入れます。

（求める入学者）

- ・自動車やものづくりに関する知識・技術を学ぶために必要な基礎学力（数学、国語、理科）を有する人。
- ・数値結果などから物事を客観的にとらえ、論理的な考えが出来る人。
- ・自動車やものづくりに興味・関心があり、将来自動車エンジニアを目指す人。
- ・自らの成長（人格や能力の向上）のために努力することが出来る人。
- ・相手の話を素直に聞き、理解し、自分の意見を伝えることが出来る人。

2) 入学者数、在学学生数等

- 2025（令和7）年度 関連資料NO. 4（入退学者）参照

3) 収容定員、定員数

課程名	学 科 名	昼夜別	修業年限	総定員	入 学 資 格
専門課程 (工業分野)	自 動 車 整 備 科	昼	2年	120名	高等学校を卒業した者 又はこれと同等以上の者
	自 動 車 シ ス テ ム 工 学 科	昼	4年	160名	高等学校を卒業した者 又はこれと同等以上の者
	国 際 オ ー ト メ カ ニ ッ ク 科	昼	3年	240名	高等学校を卒業した者 又はこれと同等以上の者
	ボ デ ィ エ ン ジ ニ ア 研 究 科 ※	昼	1年	20名	本校自動車整備科又は国 際オートメカニック科を 卒業した者若しくはこれ と同等以上の者
	開 発 エ ン ジ ニ ア 研 究 科 ※	昼	2年	30名	本校自動車整備科又は国 際オートメカニック科を 卒業した者若しくはこれ と同等以上の者

※令和8年4月より学校教育法改正の為、専攻科から研究科に科名変更

(2) カリキュラム

1) 教育課程表及びシラバス、取得を目指す資格検定等

●令和8年度 学生便覧（4～8.各科教育課程…4-1～7-5）及びシラバス参照

※令和7年度を持って開発エンジニア研究科の募集は停止しております

2) 年間の行事計画

●令和8年度 学生便覧（2. 令和8年度 年間行事予定…2-1）参照

(3) 進級・卒業の要件等（成績評価基準、卒業・修了の認定基準等）

●令和8年度 学生便覧（3.教務規定…3-1～3-4）参照

(4) 学修成果（学習の成果として資格取得、検定試験合格等の実績）

●2025（令和7）年度 関連資料NO. 3（資格取得成果）参照

(5) 卒業者数、卒業後の進路（進学者数・主な進学先、就職者数・主な就職先）

●2025（令和7）年度 関連資料NO. 2（就職成果）参照

3. 教職員

(1) 教職員数（職名別）

●2025（令和7）年度 関連資料NO. 1（教職員の増減）参照

(2) 教職員の組織

- 「2026（令和8）年度 専門学校静岡工科自動車大学校組織図」参照

(3) 教員の専門性

- 1) 一級自動車整備士：21名、二級自動車整備士（一級・外部講師含む）：61名、
車体自動車整備士：3名、二級二輪自動車整備士：2名
- 2) 自動車整備士指導員
一級学科：21名、一級実習：21名、二級学科：30名、二級実習：61名
- 3) 自動車検査員：10名

(4) 教職員研修

- 2025（令和7）年度 研修実績 参照

4. キャリア教育・実践的職業教育

(1) キャリア教育への取組状況

1) 実習・実技等の取組状況（2025（令和7）年度）

①自動車システム工学科 1級エンジニアコース

i) 科目名：「インターンシップ」（単位認定対象）

対象：4年生59名 実施期間（日数）：7月1日～8月20日（26日間）

内容：点検整備、故障診断、総合診断等

連携企業：メーカー系自動車ディーラー、整備専門、用品販売、建設機械、
フォークリフト等

ii) 科目名：「パワートレーン実習」「サスペンション実習」「自動車電装実習」（単位認定対象）

対象：1年生34名 実施期間（日数）：5月～2月（通年）

内容：トランスミッション、ディファレンシャル分解組み立て作業

独立懸架式サスペンション脱着作業、構造確認、アライメント調整

灯火回路における故障探究、リレー回路について構造及び作動、ボデー電装

連携企業：トヨタカローラ静岡株式会社、静岡マツダ株式会社、
静岡スバル自動車株式会社、ネッツトヨタ静岡株式会社

iii) 科目名：「大型自動車実習」「アライメント実習」「ジーゼルエンジン制御実習」（単位認定対象）

対象：2年生45名 実施期間（日数）：4月～2月（通年）

内容：トラック アクスル及びサスペンション脱着作業

定期点検作業

トヨタ・日産のコモンレールを始めジーゼルエンジンの制御

連携企業：静岡日野自動車株式会社、株式会社ホンダカーズ静岡

株式会社ホンダモビリティ中部、トヨタユナイテッド静岡株式会社

iv) 科目名：「高度シャシ制御実習 1」「高度シャシ制御実習 2」「システム故障探究実習」

(単位認定対象)

対象：3 年生 38 名 実施期間 (日数)：4 月～2 月 (通年)

内容：電子制御式オートマチック・トランスミッション及び

電子制御式無段変速 (CVT) の制御

ASV 構造・機能確認とエーミング作業、

CAN 通信システムの確認電気回路等の故障探求

振動分析器による振動診断、騒音検知器による異音診断

連携企業：株式会社スズキ自販静岡、ダイハツ沼津販売株式会社、

静岡トヨタ自動車株式会社

②自動車整備科

i) 科目名：「パワートレーン実習」「サスペンション実習」「自動車電装実習」(単位認定対象)

対象：1 年生 70 名 実施期間 (日数)：5 月～2 月 (通年)

内容：トランスミッション、ディファレンシャル分解組み立て作業

独立懸架式サスペンション脱着作業、構造確認、アライメント調整

灯火回路における故障探究、リレー回路について構造及び作動、・ボデー電装

連携企業：トヨタカローラ静岡株式会社、静岡マツダ株式会社、

静岡スバル自動車株式会社、ネッツトヨタ静岡株式会社

ii) 科目名：「大型自動車実習」「アライメント実習」「ジーゼルエンジン制御実習」(単位認定対象)

対象：2 年生 37 名 実施期間 (日数)：4 月～2 月 (通年)

内容：トラック アクスル及びサスペンション脱着作業

定期点検作業

トヨタ・日産のコモンレールを始めジーゼルエンジンの制御

連携企業：静岡日野自動車株式会社、株式会社ホンダカーズ静岡

株式会社ホンダモビリティ中部、トヨタユナイテッド静岡株式会社

iii) インターンシップ (単位認定対象外)

対象：2 年生就職内定者 24 名

実施期間 (日数)：8 月 1 日～8 月 9 日 (3 日間)

内容：洗車、オイル交換、日常点検、定期点検、車検、一般整備、工場清掃等

連携企業：メーカー系自動車ディーラー、整備専業、用品販売、建設機械、

フォークリフト等

③国際オートメカニック科

i) 科目名：「パワートレーン実習」「サスペンション実習」「自動車電装実習」(単位認定対象)

対象：1 年生 92 名 実施期間 (日数)：5 月～2 月 (通年)

内容：トランスミッション、ディファレンシャル分解組み立て作業

独立懸架式サスペンション脱着作業、構造確認、アライメント調整

灯火回路における故障探究、リレー回路について構造及び作動、・ボデー電装
連携企業： トヨタカローラ静岡株式会社、静岡マツダ株式会社、
静岡スバル自動車株式会社、ネッツトヨタ静岡株式会社

ii) 科目名：「大型自動車実習」「アライメント実習」「ジーゼルエンジン制御実習」(単位認定対象)

対象：2年生86名 実施期間(日数)：4月～2月(通年)

内容：トラック アクスル及びサスペンション脱着作業
定期点検作業

トヨタ・日産のコモンレールを始めジーゼルエンジンの制御

連携企業：静岡日野自動車株式会社、株式会社ホンダカーズ静岡

株式会社ホンダモビリティ中部、トヨタユナイテッド静岡株式会社

iii) 科目名：「インターンシップ」(単位認定対象)

対象：3年生18名 実施期間(日数)：11月18日～11月25日(5日間)

内容：洗車、オイル交換、定期点検、車検、一般整備など

連携企業：メーカー系自動車ディーラー、整備専業

④ボディエンジニア専攻科

インターンシップ (単位認定対象外)

対象：16名 実施期間(日数)：令和7年度はインターンシップを中止した。

内容：板金・塗装、洗車、オイル交換、定期点検、車検、一般整備など

連携企業：メーカー系自動車ディーラー、整備専業、用品販売、建設機械、
フォークリフト等

⑤開発エンジニアコース

インターンシップ (単位認定対象外)

対象：8名 実施期間(日数)：令和7年度はインターンシップを中止した。

内容：設計・開発支援、試作、実験、工場清掃等

連携企業：自動車製造業、自動車部品製造業等

●2025(令和7)年度 関連資料NO. 5(学外実習等)参照

(2) 企業・施設、業界団体等との連携によるカリキュラムの改善

1) カリキュラム編成委員会

①2025(令和7)年5月10日(土) 第1回 カリキュラム編成委員会開催

②2025(令和7)年8月7日(木) 第2回 カリキュラム編成委員会開催

(委員構成：業界団体：静岡県自動車整備振興会、企業関係者：メーカー系自動車ディーラー、静岡県自動車整備商工組合、学校側：本校教職員)

(3) 就職支援等への取組支援

1) 企業ガイダンス 2025 (令和7) 年 11 月 13 日 (木)

11 月 14 日 (金) など計 2 日間 計 69 社参加

●トヨタユニテッド静岡株式会社、静岡日野自動車株式会社、静岡スバル自動車株式会社株式会社、ホンダモビリティ中部、浜松日産自動車株式会社、静岡日産自動車株式会社、浜松ヤナセ株式会社、株式会社ケーユーホールディングス、ブリヂストンリテールジャパン株式会社、株式会社オートテックジャパン、株式会社静岡イエローハット、静岡小松フォークリフト株式会社、遠州鉄道株式会社、株式会社アクティオ、自衛隊静岡地方協力本部、一般社団法人日本自動車連盟中部本部 (JAF)、株式会社エー・エル・シー、新明工業株式会社 (オートベル含む)、エフティテクノ株式会社、静岡トヨタ自動車株式会社、UD トラック株式会社、日産プリンス静岡販売株式会社、HondaCars 浜松、ポルシェセンター静岡、株式会社ヤナセ神奈川静岡営業本部、ヤマハ発動機株式会社、独立行政法人自動車技術総合機構、東京海上日動調査サービス株式会社、あいおいニッセイ同和損害調査株式会社、トヨタ L&F 静岡株式会社、伊豆箱根バス株式会社、株式会社レント、株式会社グッドスピード、コマツカスタマーサポート株式会社、株式会社バイク王&カンパニー、学校法人静岡自動車学園、太陽建機レンタル株式会社、ネットトヨタ静岡株式会社、トヨタカローラ静岡株式会社、三菱ふそうトラック・バス株式会社、静岡マツダ株式会社、いすゞ自動車中部株式会社、静岡ダイハツ販売株式会社、サーラカーズジャパン株式会社、HondaCars 富士中央、HondaCars 静岡、静岡 BMW・浜松 BMW、株式会社トヨタエンタプライズ、株式会社日産オートモーティブテクノロジー、株式会社2りんかんイエローハット、ヤマトオートワークス株式会社、ロジスネクスト中部株式会社、静岡鉄道株式会社、株式会社レッドバロン、ネットトヨタ静岡株式会社、株式会社MYコミュニケーションズ、東海自動車工業株式会社、駿遠三菱自動車販売株式会社、HondaCars 中央静岡、株式会社ネクステージ、軽自動車検査協会愛知主管事務所、沼津三菱自動車販売株式会社、HondaCars 藤枝東、株式会社 HoQ ホールディングス、株式会社スズキ自販静岡・株式会社スズキ自販浜松、ダイハツ沼津販売株式会社、東海三菱自動車販売株式会社、株式会社キノシタ、株式会社ヒノデ

● 2025 (令和7) 年度 関連資料NO. 2 (就職成果) 参照

3) 就職面接指導 随時 (担任)

4) 父母等個別相談会 (対象：自動車整備科1、2年生、自動車システム工学科1、2、3年生、ボディエンジニア専攻科1年生、開発エンジニア専攻科1年生、

システム工学科 1級エンジニアコース4年生

システム工学科 開発エンジニアコース4年生

2025年9月16日 (父母等参加人数 2組)

2025年9月17日 (父母等参加人数 3組)

2025年9月18日 (父母等参加人数 3組)

2025年9月19日 (父母等参加人数 0組)

2025年9月24日（父母等参加人数 13組）

2025年9月25日（父母等参加人数 11組）

2025年9月26日（父母等参加人数 20組）

2025年9月29日（父母等参加人数 17組）

2025年9月30日（父母等参加人数 10組）

5. 様々な教育活動・教育環境

（1）学校行事への取組状況

●令和8年度 学生便覧（2. 令和8年度 年間行事予定…2-1）参照

1）研修旅行

2025（令和7）年：国内研修旅行実施（沖縄）

●2025（令和7）年度 関連資料NO. 5（学外実習等）参照

2）安全運転講習モビリティ（富士スピードウェイモビリティ）

2025（令和7）年：2年生を対象に安全運転講習を実施

3）静岡カーフェスティバル

2025（令和7）年：10月26日（日）に清水マリンパークにてカーフェスティバルを実施

4）メカニックコンテスト

2025（令和7）年：11月6日（木）実施

（2）課外活動（サークル活動、ボランティア活動等）

1）部活動、サークル活動

●令和8年度 学生便覧（8. 学生生活（4）③サークル活動…8-4）参照

●2025（令和7）年度 サークル活動状況 参照

2）ボランティア活動

通学路清掃ボランティア活動

●2025（令和7）年：年間を通して、すべての各科・学年で清掃活動を実施

6. 学生の生活支援

（1）学生支援への取組状況

1）保健

校内での怪我や病気に備え、保健室を設け、養護職員を配置している。

●令和7年度 学生便覧（8.学生生活（9）保健…8-5）参照

2) 留学生支援

入学前、在籍中など留学生担当職員を配置し、日常生活及び在留に関する支援を行っている。

●「2026（令和8）年度 専門学校静岡工科自動車大学校組織図」参照

3) ハラスメント対応

学生同士、学生と職員間でのセクシャル・ハラスメント及びパワー・ハラスメントなどの行為に関する相談担当者を配置している。

●令和8年度 学生便覧（8.学生生活（1）学生心得⑥ハラスメント…8-2）参照

7. 学生納付金・就学支援

(1) 学生納付金の取り扱い（金額、納入時期等）

1) 納入時期

年4回に分けて納入する。

●令和8年度 学生便覧（8.学生生活（11）授業料等納入方法…8-6）参照

2) 納入金額

●2025（令和7）年度 関連資料NO. 7（学納金）参照

(2) 活用できる経済的支援措置の内容等（奨学金、授業料等減免等の案内等）

1) 奨学金制度

①日本学生支援機構奨学金（希望学生対象）

②同窓会奨学金（対象：2年生在籍者）

●令和8年度 学生便覧（8.学生生活（10）奨学金制度…8-6）参照

2) 下宿費用補助制度（対象：通学が困難なためアパート等居住用物件を契約している学生）

●令和8年度 学生便覧（8.学生生活（8）下宿費用補助制度…8-5）参照

3) 特待生制度

特待生A合格：24万円×在籍年数給付（若干名）

特待生B合格：12万円×在籍年数給付（若干名）

特待生C合格：12万円×在籍年数の1/2給付（若干名）

4) 企業奨学制度

企業と連携し、学費等を支援する制度（貸与額等は支援企業により異なる）

8. 学校の財務

(1) 貸借対照表、資金収支計算書等

●2025（令和7）年度 関連資料NO. 8（主要財務数値）参照

9. 学校評価

(1) 自己評価・学校関係者評価の結果

1) 自己点検・自己評価

●2025（令和7）年度 自己点検・自己評価報告書 参照

2) 学校関係者評価

●2025（令和7）年度 学校評価書（学校関係者評価）参照

(2) 評価結果を踏まえた改善方策

●2025（令和7）年度 学校評価書（学校関係者評価）参照

10. 国際連携の状況

(1) 留学生の受け入れ・派遣状況

当校入学時までには在留資格「留学」を取得すること。

1) 出願資格

①外国において12年以上の学校教育を受けていること。

②12年に満たない場合は、文部科学省が認める準備教育課程の修了者。

③日本語教育機関を卒業、または同等の日本語能力を有する者。

2) 選考方法

基礎計算・面接・出願書類の総合評価で判定。ただし日本国外からの受験者については厳正な書類選考で判定する。

3) 入学後の生活に関する項目

入学前、在籍中など留学生担当職員を配置し、日常生活及び在留に関する支援を行っている。

●「2026（令和8）年度 専門学校静岡工科自動車大学校組織図」 参照

11. その他

(1) 学則

●令和8年度 学生便覧（学則〈抜粋〉…1-1～1-8） 参照

(2) その他の教育活動

1) 生涯学習

●2025（令和7）年度 関連資料NO. 9（生涯教育） 参照

2) 附帯教育事業

2025（令和7）年度：未実施

●2025（令和7）年度 関連資料NO. 10（附帯教育事業） 参照

3) 中学生職場体験等

●2025（令和7）年度 中学生職場体験学習

令和6年度は延べ85名の中学生が職場体験を実施

以上